

Peace for World

in Hiroshima 2012

World Peace Concert "HIROSHIMA" 2013 プレ・イベント

Introduction

人類史上初の原爆による破壊から復興した広島は、世界平和への取組を推進し、世界の平和実現のための拠点として、国際平和に貢献していく使命があると考えております。このため、広島から世界へ平和のメッセージを発信し、平和貢献活動を持続的に支援できる仕組みの構築に向け、現在「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトを展開しています。

このプロジェクトでは、平成25年8月に世界規模の平和コンサート(World Peace Concert "HIROSHIMA" 2013)を開催し、音楽を通じて世界平和に向けた国際世論の喚起を促すとともに、平和の国際イベントや関連プログラムの実施を通じて、内外に平和のムーブメントを醸成し、広島から世界へ平和のコミュニティの輪を広げて行くこととしています。

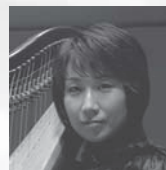
今年のプレ・イベントでは、若い世代を中心に内外の著名アーティストが、平和への想いを音楽にのせて世界へ発信します。アーティストの奏でる平和のハーモニーが、世界平和の架け橋となり、「ピース・アーチ・ひろしま」が世界中に広がっていくことを願っています。

Profile (出演順)



新村 理々愛 (フルート)

1994年東京都出身。3歳よりリコーダーの教育を受けた後、6歳からフルートを始める。日本クラシック音楽コンクール、日本管打楽器コンクール、びわ湖国際フルートコンクールなど内外のコンクールにていずれも最年少優勝、入賞。小学4年でオーケストラと初共演して以来、内外の多くのオーケストラとの共演やメディアにも多く出演。現在、東京藝術大学附属音楽高等学校3年在学中。



早川 りさこ (ハープ)

東京藝術大学卒業。1991年第3回日本ハープコンクール優勝。1993年リサイタルデビュー、1996年第2回アルビスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクール優勝。国内の主要オーケストラとの共演の他、テノールの錦織健、ソプラノの中丸三子等との共演など多数。2001年よりNHK交響楽団員。2006年4月より東京藝術大学附属高校及び東京藝術大学非常勤講師。



宮本 笑里 (ヴァイオリン)

ヴァイオリニスト。14歳でドイツ学生音楽コンクールデュッセルドルフ第一位入賞他。2007年「smile」でアルバムデビュー。コンサート活動のほか、日本テレビ系「NEWS ZERO」カルチャーキャスターとして出演するなど、多方面で活躍。仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演した初のオーケストラ共演アルバム「ルネッサンス」をリリース。



幸田 浩子 (ソプラノ)

東京藝術大学大学院を経て渡欧。数々の国際コンクールで上位入賞後、ローマ歌劇場をはじめ欧州の主要歌劇場で主役級を演じ、名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約を結ぶ。国内では主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルの他、NHK「気ままにクラシック」のパーソナリティ等多彩な活動で人気を博す。《天使の糧(パン)》をはじめ4作品をリリース。二期会会員



秋川 雅史 (テノール)

4歳でヴァイオリンとピアノを始める。国立音楽大学、同大学院終了。その後、イタリアのパルマにて修行。1998年にカンツォネコンクール第一位。日本クラシック音楽コンクール声楽部門優勝。2007年に「千の風になって」がオリコンシングルチャートで第一位。(テノールとしては史上初)



ジャッキー・エヴァンコ (米国・歌手)

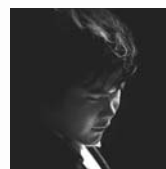
2000年4月、米国ピッツバーグ生まれ。2009年のラスベガスで行われたタレント大会で優勝し、その後、プロデューサーのデヴィッド・フォスターに才能を見出されデビュー。同年のナショナル・クリスマス・ツリー点灯式にはオバマ大統領と共演。デビューアルバムは、全米ビルボード・チャートで第二位を記録。「天使の歌声」と評される、伸びのある深く豊かな声で世界を魅了する話題の天才少女。

Photo: Miranda Penn Turin



クリストファー・クロス (米国・歌手)

1979年デビュー、美しく余情的なハイトーンの歌声のシンガーソングライター。1980年には、全米チャートNo.1ヒット曲「Sailing」でグラミー賞5部門受賞、その後も「Arthur's Theme (邦題: ニューヨーク・シティ・セレナーデ)」(1981年)で、アカデミー賞最優秀映画主題歌賞を獲得。1984年にはロサンゼルス・オリンピックに楽曲を提供。



辻井 伸行 (ピアノ)

東京生まれ。2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して国際的に活躍中。2011年11月にはカーネギー・ホールで招聘でリサイタルを行い絶賛された。作曲家としても注目され、映画《神様のカルテ》で「第21回日本映画批評家大賞」受賞。



秋山 和慶

(広島交響楽団音楽監督・常任指揮者)

故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部卒業。1964年2月に東京交響楽団指揮してデビューの後、同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。この間、バンクーバー交響楽団の音楽監督などを歴任。1998年広島交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザー就任後、2004年からは、音楽監督・常任指揮者として、広響の能力を飛躍的に伸ばし、高い評価を受けている。

広島交響楽団

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。その後「広島交響楽団」と改称し、1972年のプロ改組以来、中・四国唯一の常設プロオーケストラとして活躍の場を広げている。広島を中心に日本各地での公演はもとより、1991年「広響国連平和コンサート」(ウィーン、プラハ)、2005年10月「日韓友情年2005」事業の公演(ソウル、プサン、テグ)など、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。これまでに「広島文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」を受賞。

これは、音声コードです

目の不自由な方の情報提供を目的に作られたものです。この音声コードを、活字読み上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。

